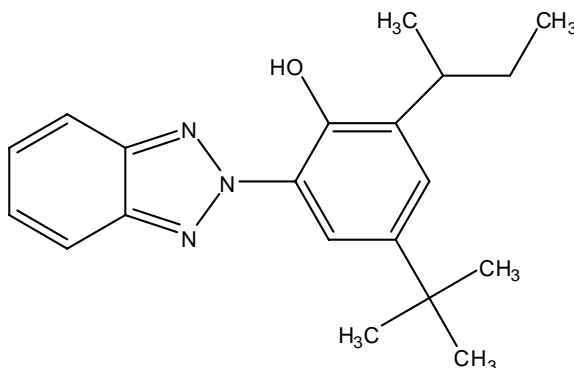


反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)データシート

官報公示 整理番号	5-3604	CAS No.	36437-37-3
名称 構造式等	名 称 : 2-(2 <i>H</i> -ベンゾトリアゾール-2-イル)-4-(<i>tert</i> -ブチル)-6-(<i>sec</i> -ブチル)フェノール 別 名 : Phenol, 2-(2H-benzotriazol-2-yl)-4-(1,1-dimethylethyl)-6-(1-methylpropyl)- 分子量 : 323.44 分子式 : C ₂₀ H ₂₅ N ₃ O 構造式 : <div></div>		
外観	淡黄色粉末		
溶解度	<1.0 mg/L(水)		
分解性	難分解性		
蓄積性	高濃縮性		
純度	100 %		
用量設定 試験	投与用量	0, 30, 100, 300, 1000 mg/kg	
	投与期間	14日間	
	主な結果	1000 : 死亡 (♂5/5例、♀1/5例)、軟便 (♂♀)、体重↓ (♂♀) AST・ALT・Alb・A/G↑ (♀)、RBC・Hgb・Hct↓ (♀) , 肝小葉中心性の肝細胞肥大 (♀) 300 : Hgb・Hct↓ (♂♀)、RBC↓ (♀) , AST・ALT・LDH↑ (♂) Alb・A/G↑ (♂♀) 肝臓・腎臓重量↑ (♂♀)、脾臓重量↓ (♀) 肝小葉中心性の肝細胞肥大 (♂♀) 100 : Hgb・Hct↓ (♂)、AST・ALT・LDH・Alb・A/G↑ (♂) 肝臓・腎臓重量↑ (♂) 肝小葉中心性の肝細胞肥大 (♂) 30 : Alb・A/G↑ (♂) 肝臓・腎臓重量↑ (♂) 肝小葉中心性の肝細胞肥大 (♂)	
	反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験 (ReproTox)		
投与	使用動物	CrI:CD(SD)ラット、投与開始時 10 週齢	
	投与方法	強制経口投与 溶媒 : オリブ油	
	投与用量	0, 0.5, 2.5, 12.5 mg/kg、回復群 0, 12.5 mg/kg (R12.5)	
	投与期間	♂42 日間、♀41-55 日間 (哺育 4 日まで)	

反復投与 毒性 主な結果	一般状態	影響なし
	行動機能 観察	影響なし
	体重	影響なし
	摂餌量	影響なし
	尿	影響なし
	血液学	影響なし
	生化学	♂ : TG ↓ (0.5, 2.5, 12.5)、Alb・A/G・ALP ↑ (12.5) ♀ : TG・PL ↓ (0.5, 2.5, 12.5)、AST ↑ (12.5)
	器官重量	♂ : 肝 g ↑ ・ % ↑ (12.5)、腎 % ↑ (12.5) ♀ : 影響なし
	病理組織	影響なし
	標的器官	♂ : 肝臓 ♀ : 肝臓 (用量設定試験の結果より)
生殖発生 毒性 主な結果	親動物	影響なし
	児動物	影響なし
NOAEL		反復投与毒性 : ♂ 12.5、♀ 12.5 生殖発生毒性 : 12.5
	推定根拠	反復投与毒性 ♂ ♀ 12.5 : 毒性影響なし 生殖発生毒性 12.5 : 毒性影響なし
NOEL		反復投与毒性 : ♂ 0.5 未満、♀ 0.5 未満 生殖発生毒性 : 12.5
	推定根拠	反復投与毒性 ♂ 0.5 : TG ↓ ♀ 0.5 : TG ↓, PL ↓ 生殖発生毒性 影響なし
備考	本物質の類似物質である 2-(2H-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ブチルフェノールは、三省合同審議会においてラットでの長期毒性の NOEL が 0.1 mg/kg/day とされた。	

本データは、平成 19 年度ハザードデータ評価委員会（独立行政法人製品評価技術基盤機構）で評価された。